

自立 敬愛



参観週間 ありがとうございます

▼2学期の生活参観週間を10月26日(月)から30日(金)の5日間にわたって行いました。この時期は、2学期の折り返し地点でもあり、修学旅行や中間テストを無事に終え、落ち着いて授業に臨んでいる子どもたちの姿を見ていただけたことと思います。▼のべ10人の保護者に来校していただきました。参観後の感想をいただきましたので、その一部を紹介させていただきます。

- ・広々とした教室で伸び伸びと学習している姿が印象的でした。普段の学習の様子を見ることで安心しました。ありがとうございました。
- ・みんな活発に意見を出したり、それについて考えたりと、1回目では見られなかった様子が見られ、少しずつだが絆みたいなものが生まれていてうれしく思いました。3回目も楽しみです。
- ・英語の授業、いつも楽しく引き込まれてしまいます。自分の時もこんな先生がいてくれたらと羨ましく思いました。それぞれの先生が色を出していて、とてもいい授業だったと思います。
- ・家庭科の授業で、色や服装などについて勉強していました。私も聞いていて参考になるところがありました。また機会があれば行きたいです。
- ・各学年、生き生きとした子どもたちの様子も見られて良かったです。

思春期体験教室 3年生

▼10月27日(火)、命の大切さや親になることの意味や責任について学ぶことを目的に「思春期体験学習」が行われました。対象は3年生で、市川三郷町いきいき健康課の鈴木助産師、斎藤保健師、岸本保健師と峡南教育事務所の水上様の4名の講師をお迎えし実施しました。▼最初に鈴木助産師の講義が



あり、市川三郷町の昨年度の出生時は80人、一方2.7人に1人は65才以上の高齢者であり少子高齢化進んでいることや保健師の仕事内容をお話していただきました。そして、命の始まりから胎児の成長の様子を、画像を用いて説明してくれました。その後、重さ3kgのシミュレータを身に付け、妊婦の疑似体験をしました。▼子どもたちからは「お母さんの辛さが分かった」「赤ちゃんのことがしっかり学べた」などの感想が述べられました。今回はコロナ禍で「赤ちゃん抱っこ」はできませんでしたが、命の誕生の瞬間に何度も立ち会った鈴木助産師の講義を聴けたり、妊婦の疑似体験ができたりと貴重な学習の機会になりました。

交流授業で授業改善!

▼10月26日(月)と11月2日(月)、本校の校内研究の一環で「交流授業」が行われました。全ての先生方が指導案をもとに、それぞれ趣向をこらしながら授業を展開し、それを全職員が参観しました。▼授業後は、それぞれの教員が参観時に記録した観察シートをもとに、気付いた点や感想を授業者に伝え、相互に意見交換を行う中で、良かった点や今後の改善点等を確認し合いました。今後とも、質の高い授業を目指し、しっかりと準備を行い一時間一時間の授業を大切にしていくことを確認し合いました。



菊が満開になりました

▼5月に挿し芽をして、育ててきた菊が満開となりました。昔は市川南中学校でも、全校生徒が「秋菊の三本仕立て」を一人3鉢ぐらい栽培したのです。しかし、手間がかかり時間的な余裕がないことから最近では、栽培する学校はほとんどありません。▼今回は40鉢ほどになりますが、丹精込めて育てました。興味のある方は、本校のホームページに栽培記録を掲載しましたのでご覧ください。

